

## シンポジウム「ゲノムから心まで：心の先端研究拠点への展望」の開催について

1. 主催 日本学術会議心理学・教育学委員会「心の先端研究と心理学専門教育」分科会
2. 後援 京都大学グローバルCOE生物多様性研究拠点（A06）  
京都大学グローバルCOE心が活きる教育のための国際的拠点（D07）
3. 日時 平成20年2月2日（土）13：30から17：45
4. 場所 京都大学百周年時計台記念館（京都市左京区吉田本町）
5. 次第

### 開催趣旨

人間の体が進化の産物であるように人間の心も進化の産物である。ヒトゲノム解読に続いて、2005年にはチンパンジーゲノムやイネゲノムが解読された。人間の生物学的基盤の理解がすすむ一方で、部分に還元されないまるごと全体としての人間という存在をどのように理解するかが問われている。心の研究は、従来は心理学や認知科学の領域だったが、全体的な理解には多様な学際的なアプローチが必要だろう。そこで、ゲノム科学、比較認知科学、心理物理学、神経科学、認知ロボティクスなど、人間の心の理解につながる多様な先端研究の現状を総覧し、相互の理解を深めるとともに、将来的な共同研究および国際連携の拠点づくりを展望したい。

開会あいさつ：長谷川寿一（東京大学教授、日本学術会議会員）

### I 講演（13：30－15：30）心の先端研究

- 1) 下條信輔（カリフォルニア工科大学、教授）心理物理学の研究から
- 2) 入来篤史（理化学研究所、東京医科歯科大学、教授）神経科学の研究から
- 3) 浅田稔（大阪大学大学院工学研究科、教授）認知ロボティクスの研究から

### II 討論（15：45－17：45）バーチャル共同研究拠点への展望

司会：長谷川壽一（東京大学）

パネリスト：今井むつみ（慶応義塾大学）、内田伸子（お茶の水女子大学）、坂上雅道（玉川大学）、実森正子（千葉大学）、積山薫（熊本大学）、辻敬一郎（名古屋大学）、西田眞也（NTT基礎研究所）、藤田和生（京都大学）、松沢哲郎（京都大学）、山岸俊男（北海道大学）、吉川左紀子（京都大学）、渡辺茂（慶応義塾大学）、渡邊正孝（東京都神経科学研究所）

閉会あいさつ：内田伸子（お茶の水女子大学教授、日本学術会議会員）

### 参加申込方法

\* 事前申し込みは必要ありません。どなたでも参加できます。参加無料です。

問い合わせ先：京都大学霊長類研究所、電子メールでお願いします。

電子メールあて先： kokoro@pri.kyoto-u.ac.jp （松沢・山本）